

### 位置図



### 事業概要

開始年度	平成22年度	
事業延長	L=850m	
事業内容	遊歩道	L= 600m
	飛び石	2箇所
	スロープ整備	2箇所
	階段護岸工	2箇所
	植栽	一式

### 地域の声

きれいになり、歩きやすく、遊びやすくなった。伐採して明るくなって良い。

### 事業経緯

#### 検討会メンバー

都幾川遊歩道の会、小中学校長、自治会、ときがわ町、県

#### 地域活動

都幾川遊歩道の会、コスモす及び川の国応援団美化活動団体による河川美化活動  
NPOもりんどによる河道内の生物調査等

第1回ワーキング会議（平成22年6月29日）  
・都幾川の現状や課題を抽出

住民アンケート実施（平成22年7月）  
・住民337名を対象にアンケートを実施

第2回ワーキング会議（平成22年7月27日）  
・住民アンケート調査の取りまとめ、基本方針の確認

第3回ワーキング会議（平成22年8月26日）  
・施設計画と維持管理方策について決定

測量、設計（平成22年5月～平成22年11月）

工事（平成22年12月～平成24年6月）



### 整備の状況



整備前

草木が生茂り、水辺に近づきにくい。（H22.9撮影）



整備後

水辺に近づけるようになり、明るくなった（H24.7撮影）

# 事業概要

## 整備テーマ ポイント

### 「人」と「とき」を結ぶ拠点づくり

- ① 都幾川の安全な治水の確保
- ② 都幾川の自然環境の保全
- ③ 身近にふれあえる親水空間の創出
- ④ 周辺施設、および環境とのネットワーク
- ⑤ 環境・歴史学習の場の検討
- ⑥ 維持管理方策の検討

★：ビューポイント



**飛び石**  
散策の範囲をひろげて、水辺に親しむ空間をつくりました。



**散策路**  
河川敷へのアプローチ、水際へのアプローチが容易になるよう整備し、川の姿や、動植物を身近に観察できるようになりました。



**河畔林の保全**  
在来種の木を残し、「川の広場」及び右岸側の「田園とにぎわいゾーン」を結ぶ散策道を整備しました。



階段護岸工

河畔林保全ゾーン

飛び石

階段護岸工

歴史保全ゾーン

田園とにぎわいゾーン

トイレ・駐車場  
※ときがわ町整備

環境学習ゾーン

都幾川



**ポケットパーク**  
郷土への愛着や誇りを育て、また高めるため、自然豊かな景観の見晴らしの場、看板などを整備しました。



**植樹**  
在来種を中心とした植樹帯、ベンチ、スロープを設置し、住民の憩いの場を創出します。



駐車場  
※ときがわ町整備



**川の広場**  
治水安全度の確保と河畔林の保全の両立に配慮しました。